

近年、異常気象が激増しているのはなぜか

豪雨をもたらす「線状降水帯」の恐怖

'20 年7月に九州を襲った「令和2年7月豪雨」は線状降水帯が原因だった。「線状降水帯は、地形などの影響で積乱雲の前方

に次々と新しい積乱雲が発生し、帯状につながっているもので、その下では豪雨が降りやすくなります。以前からある現象ですが、温暖化でそのパ

ワーが増していることも事実。温暖化によって大気中の水蒸気が増えたため、以前よりも巨大な積乱雲が発生しやすくなっています。それが冷やされることで激しい雨をもたらすのです」

(前出・古川氏)

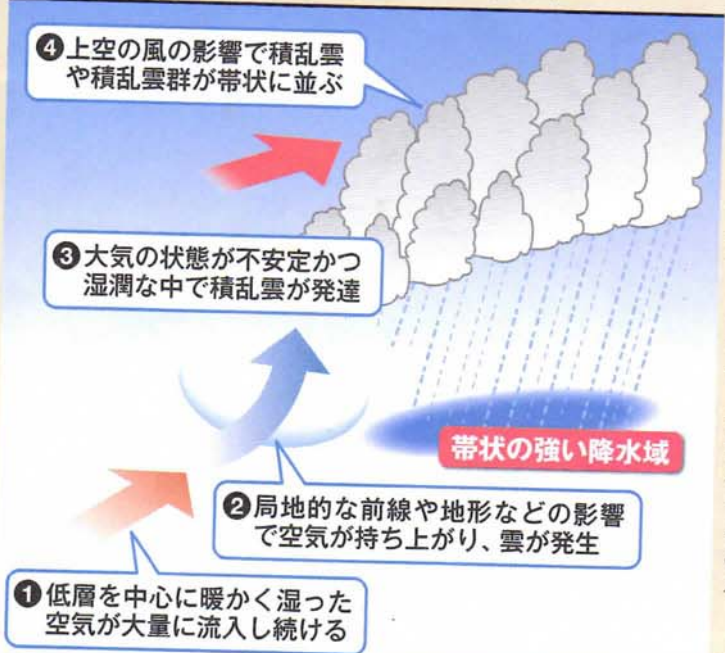
熊本県球磨村で行われた自衛隊による救助活動の様子

「ゲリラ豪雨」は増えたのか

近 年、よく耳にする「ゲリラ豪雨」。専門家によれば、回数が増えているかどうかは不明という。ただし、その威力が増しているのは間違いない。気象学者の江守正多氏と言う。「空気中の水蒸気が増え

ているので、以前に比べて大量の雨が降るようになっていきます。さらにヒートアイランド現象で、都心の気温は上昇している。温められた空気で大気の状態が不安定になり、雨が降る引き金になっている可能性があります」

線状降水帯のメカニズム



令和2年7月豪雨

東京の「ゲリラ豪雨」発生の仕組み

